

## 平成 27 年度事業の総括

平成 27 年度の沖縄観光の入域客数「ビジットおきなわ計画」目標 760 万人（海外 120 万人）に対しまして、793 万 6,300 人（国内 626 万 6,000 人・海外 167 万人）で、対前年比 76 万 6,400 人増加、率にして 10,7%の増加となり、3 年連続で過去最高を更新し、800 万人に届く勢いとなった。

前年度と比べ増加の要因としては、特に外国客の増加が大きく寄与しており円安の継続に伴う国内旅行及び訪日旅行需要増加と海外航空新規路線の拡充等が上げられる。特にクルーズ船の寄港回数は前年比 59 回増の 221 回と大幅に伸びたことも考察すると外国人の景気感が上向いたことが旅行需要増に拍車をかけ、旅行マインドがプラスに動いたと見られる。また、国内外における官民上げての継続したプロモーション活動の効果も含め入域増の大きな要因として考えられる。

名護市観光協会では、県内外からの観光客誘致のため実施している、第 37 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会（約 5,000 人）、第 54 回名護さくら祭り（二日間・195,000 人）のイベントを実施したほか、第 1 回アジア国際ハーリー大会を開催、沖縄県が有するポテンシャルとして、東アジアの中心に位置する立地環境を活かし、沖縄独自（名護）の伝統行事ハーリーを県外・海外へ発信すると同時に沖縄観光の閑散期の誘客促進に寄与する目的でアジア国際ハーリー大会を開催致しました。参加者・観客含め約 1,200 名の動員があった。その他、名護市 P R 事業として、東京都にて日本さくらの会総会・群馬県館林つつじ祭りや、北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー&名護デーに名護さくらの女王を派遣し名護 P R を行った。

また、沖縄県の戦略的課題解決型観光商品支援事業を活用し『名護ハーリー M I C E 商品プログラムメニュー』の開発に着手、名護ハーリーを年中体験できるプログラムを軸に、企業研修旅行・修学旅行や他団体様のニーズに応える為に、チームビルディング理論に基づいたハーリー体験プログラムを提供しており県内外・海外では台湾やシンガポールの旅行社・企業への事業説明を行いました。

PR 事業として、ハーリー体験・名護まちなか散策ガイド事業を主に、10 月美ら島フェスタ（東京/東武百貨店）・11 月修学旅行フェア（東京・大阪）12 月旅行社商談マッチング（東京）・1 月上旬日本一早いさくら PR（東京）等にて名護市のパンフレット・DVD を活用し P R 活動を実施し名護市の魅力や着地型商品の P R を行った。

## 【主な事業】

### 1. 2015 海フェスタ in 名護の開催

平成 27 年 4 月 29 日(水)21 世紀の森ビーチに於いて、ビーチクリーン小学生、各企業・団体含め約 100 名の動員がありました、また、名護市長はじめ観光協会役員関係者で海の安全祈願祭を行いました。また、第 41 代名護さくらの女王の夏服のお披露目も行い名護さくらガイドの認定式や少年ビーチサッカー大会も同時に開催し海フェスタを盛り上げました。

### 2. 『データを活かす観光振興から数字で見る観光』セミナー開催

平成 27 年 7 月 16 日（木）に北部生涯学習推進センター（名桜大学構内）にて開催、名護市商工観光課と名桜大学観光産業学部の協力を頂き、セントラルフロリダ大学経営学部学部長、原 忠之教授と琉球大学観光産業学部の金城盛彦教授をお招きし、観光政策の立案、数字で見る観光分析についてセミナーを行いました。沖縄県・OCVB・北部地域の行政（観光課）・観光施設等の関係者約 60 名が受講した。

### 3. 第 37 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会

観光振興及び漁業振興を図る目的で、平成 27 年 8 月 2 日(日)名護漁港構内において 180 チーム 2,715 名の選手が参加し観客を含め約 6,715 名の動員数があり『ハーリー甲子園』と呼ばれるにふさわしい県内最大のハーリー大会が行われた、県外から毎年友好都市の館林市から 2 チームの参加があり、海外からは台湾 1 チームのエントリーがありハーリー交流も含め大会を盛り上げた。

#### 【男子の部】

優 勝：	沖水 1 号（糸満市）	3 . 2 1 . 3 2
準優勝：	チームタクミ（糸満市）	3 . 2 3 . 8 4
三 位：	はまゆう（うるま市）	3 . 2 5 . 4 7

#### 【女子の部】

優 勝：	10 倶琉（名護市）	1 . 4 3 . 8 2（4 連覇）
準優勝：	がナーズレディース（宜野湾市）	1 . 4 6 . 4 9
三 位：	友遊会（名護市）	1 . 4 9 . 3 1

4. 観光人材育成プラットフォーム事業（接客マナー）講座の開催

平成 27 年 9 月 10 日～9 月 29 日（5 日間/10 時間）

新入社員を中心に接客の基本・コミュニケーションの重要性・電話対応・社会人の基礎力等実施し、観光客の満足度を高めるためのスキル・知識の向上を図り自信を持った接客ができたことを目的に観光施設の若手スタッフ 15 名が受講した。

5. 観光人材育成プラットフォーム事業（英語）講座の開催

平成 27 年 10 月 20 日～11 月 27 日（12 日間）

沖縄県へ外国人客が年々増加しており名護市観光協会と致しましても、欧米文化の理解、英語圏からの観光客受入に必要な知識の習得やより良い対応の仕方を学ぶ目的で、OCVB より講師を派遣していただき宿泊施設・観光施設の職員を中心に約 20 名が受講した。

6. 第 1 回アジア国際ハーリー大会

沖縄県が有するポテンシャルとして、東アジアの中心に位置する立地環境を活かし、沖縄独自の伝統行事ハーリーを県外・海外へ発信すると同時に沖縄観光の閑散期の誘客促進に寄与する目的でアジア国際ハーリー大会を開催致しました。

県内/24 チーム/ 県外/鹿児島・福岡・熊本・兵庫・京都、海外/台湾 4 チーム総勢 33 チームがエントリー、観客含め 1,000 名の動員数がありましたが目標の 1,200 名には届かない結果となった。今後の継続性の課題としましては、各企業のご理解と冠スポンサーの獲得が重要であり

自己負担でも参加したいと思う大会独自の魅力を作り出すことが求められる。

優 勝： 鹿屋体育大学カヌー部（鹿児島） 3. 1 6. 5 5

準優勝： カイコンハーリークラブ（名護市） 3. 3 5. 1 4

三 位： チーム タクミ（糸満市） 3. 4 0. 0 2

7. 第 42 代名護さくらの女王選考会

平成 27 年 12 月 19 日（土）、名護市産業支援センター大会議室で行われた、さくらの女選考会において山川 夏穂さん・仲村 華乃さん・高良 葉月さんの 3 名が第 42 代名護さくらの女王に選ばれた。3 名の女王は、1 年間の任期で名護市の親善大使として、県内外で名護市の PR 務めている。

## 8. 第54回名護さくら祭り開催

「日本の春はここから始まる」をキャッチフレーズに、平成28年1月30日と31日の2日間開催。、シャトルバスで名護城の桜見見学を実施（バス利用者二日間1,012名）・名護大通りをトランジット化させ市民参加型のイベントを実施、また名護漁港で開催されたガーデナーフェスタ会場にも多くの方が来訪、友好都市の滝川市・八幡平市・館林市・枚方市の関係者を始め、市内外から、約195,000人余（本部前2日間統計）が名護市を訪れた。祭り期間中の開花状況3分咲きであったが、2月上旬の満開となった。

## 9. ハーリー体験事業

平成27年9月30日（水）21世紀ビーチにて、東京都霧が丘高校440名、10月1日（木）東京都三瓶高校50名、11月11日（水）東京都立聖望学園高等学校440名を受け入れた、協会職員・漁業組合・ハーリー関係者の協力をいただき安全な海の体験事業を行うことが出来た、着順を競うハーリー競漕は、『名護ハーリー』チームビルディングプログラムを取り入れ、団結力・達成感が図られチームワークと組織力向上に寄与します、また、地元関係者との交流ができることから、旅行社・学校関係者から高い評価をいただいている。

## 10. 元気プロジェクト MICE メニュー開発・受入体制充実支援事業

平成27年7月～平成28年3月（9ヶ月間）

名護の海を活用して、年中活用できる北部地域の新たな観光目玉商品として、名護ハーリーを活用した新しい本格チームビルディングアクティビティを開発し、国内旅行社とタイアップした北部地域の回遊性を高める取り組み行い、海外市場開拓と商品ブラッシュアップを図るモニターを実施し自走化を図る目的で事業をスタートしました。

8月ハーリー大会へ台北市の企業を招聘し大会の見学とハーリーについての意見交換会を実施  
9月から12月琉球大学講師の指導のもとチームビルディング理論の勉強会を実施  
9月ツーリズムEXPOジャパン in 東京・10月沖縄MICEトレードショーにて動画で紹介しながらアンケート調査・意見交換等を実施

1月台北市ロータリークラブ（永楽社/31社）でのプレゼンテーションを実施

1月名護市21世紀ビーチにて県関係者・旅行社へのモニターツアーの実施

27年度は、国内旅行社へのセールス強化を行い誘客促進及び認知度の向上を行う、海外誘客につきましては、台湾以外にも香港・韓国・シンガポールへのプロモーションを行うと同時に現地での企業向け情報発信を強化を重点に行っていく。

#### 11. やがじ夢の架け橋事業

平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月（9 ヶ月間）

屋我地地域において、観光関連事業者の参入により地域の資源を活用した体験メニューの開発及び提案が寄せられており、地域と観光関連事業者等との共存に向けたルールづくりに向けて、地域住民の意見を互いに共有する場をつくり地域の課題を整理する目的で委託業務を行いました。

やがじ地域の関係者より民泊事業を行い体験型商品を発信したい意見が多くワークショップやモニターツアーを実施した。

ワークショップ：4 回（50 名）

モニターツアー：1 回（民泊体験者 12 名）

#### 12. やがじ定住・移住推進事業

平成 27 年 7 月～平成 28 年 2 月（8 ヶ月間）

屋我地地域の積年の課題である少子高齢化、定住人口の減少といった問題は改善がみられない状況が続いている。その反面、自然が多く残る環境に魅了され、移住する人々が現れはじめている状況から、空き家を再活用し移住希望者とのマッチングを図ることで、現状の地域課題の解決の糸口とする目的で、空き家の現状把握の為調査を行った。

調査員 2 名

空き家：71 件

## 【協力事業】（付属明細）

### 1. 日本さくらの会中央大会総会

平成 27 年 4 月 14 日～16 日の日程で、第 50 回さくら中央大会へ第 41 代名護さくらの女王比嘉 若菜さんと職員 1 名を派遣した、名護市は県内唯一の日本のさくら 100 選出されており、さくら前線は南の名護市から日本一早いさくらの PR を行った。

### 2. 第 22 回羽地ダム鯉のぼり祭り

平成 27 年 5 月 2 日～3 日の日程で開催されました、鯉のぼりの掲揚数として 350 匹し羽地地域の関係者を中心に祭りを盛上げており二日間で 15,715 人が会場に足を運んで頂きました。観光協会と致しましては、名護さくらガイドによる羽地地域の歴史・文化・自然を満喫できる羽地ジブンウォークを行い参加者数 70 名が地域資源を学びました。

### 3. 北海道日本ハムファイターズ札幌応援ツアー

平成 27 年 5 月 28 日～31 日の日程で、61 名の応援団を札幌ドームに派遣し、ファイターズと中日ドラゴンズ戦を観戦した、グラウンド内では、名護市議会議長による始球式をはじめさくらの女王からの花束贈呈やエイサーも披露、ベースランニングやチアガールと一緒に YMCA 等も踊り会場を盛り上げた。また、スタンド裏では、名護市の特産品の販売も同時に行い約 3 時間名護市を PR する事が出来た。

### 4. 第 27 回ツール・ド・おきなわ 2014 の協力

平成 27 年 11 月 7 日（土）8 日（日）

第 27 回を迎えたツールドおきなわ年々参加者が増え今年は、4,593 名（県内 2,011 名・県外 2,198 名・海外 384 名）対前年より 5 名増加となった。また、北部 12 市町村の参加状況も年々増加傾向にあり今年は 1,000 名の参加がありました、中でも、一輪車・三輪車で 340 名エントリーがあり子ども達の認知度が高まっている結果である。

### 5. 2015 冬の街フェスカリークリスマス in 名護

平成 27 年 12 月 23 日（水）

名護市のシンボル「ひんぷんがじゅまる」の価値を市民が再認識すると共に保護・保全にムーブメントを上げ末永く輝き続けること願い、新しい名護市のイベントとして開催しております。実行委員会を発足し、当協会としましては、事務局の窓口として協力を行いました。当日は、約 3,000 人の来場を頂きダイヤモンドスのライブが始まると雨もあがり会場は最高潮に達した、来場者からは次年度も開催してほしいとの声が上がっている。

#### 6. 第 28 回 名護・やんばるツーデーマーチの協力

「健康と生きがいがづくり」をテーマに、平成 27 年 12 月 12 日・13 日の 2 日間開催、5 km から 40 km までの 8 コースに 2,462 名（県外参加者 703 名）が参加、秋のやんばる路ウォーキングを楽しんだ。名護市全域を舞台にしたこの大会は、日本マーチングリーグ公認 15 大会の一つで、年末、しかも唯一亜熱帯での大会とあって、最も人気のある大会となっている。観光協会は、商工観光課と連携をし大会本部及び各コースの運営業務を行った。

#### 7. 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ支援

東京から北海道に本拠地を移して 12 年目を迎えた北海道日本ハムファイターズ、今年から前半アメリカアリゾナ州にてキャンプを行い、平成 28 年 2 月 17 日から 27 日までの 10 日間、名護でキャンプを行う事になった。名護市の計画通り平成 32 年 2 月新球場開設に向けて、名護市観光協会は、市及び商工会と共に「北海道日本ハムファイターズ名護協力会」の構成団体として、ファイターズのキャンプ受入協力と支援を行っている。

#### 8. オープン戦の開催支援

平成 28 年 2 月 21 日（土）千葉ロッテマリーンズ戦、約 3,500 名の来場があった。観光協会は、ファイターズ名護協力会として前売りチケット販売・事前広報・当日の応援を行った。

#### 9. インターネットHPによる情報発信

名護市の観光情報の発信及び情報収集を目的として、インターネットのホームページ上で、最新情報発信および会員の事業所紹介に努めた。

【アクセス件数】（ ）は前年度件数

月	アクセス件数	1 日平均
---	--------	-------

4月	13,125 (14,890))	438 (496)
5月	15,593 (18,112)	520 (604)
6月	16,544 (18,544)	551 (618)
7月	27,113 (26,204)	904 (873)
8月	27,567 (27,332)	919 (911)
9月	14,188 (16,466)	473 (549)
10月	16,423 (17,229)	547 (574)
11月	17,643 (17,899)	588 (597)
12月	23,625 (24,633)	788 (821)
1月	52,561 (55,287)	1,752 (1,842)
2月	23,783 (25,127)	849 (897)
3月	15,324 (19,335)	510 (645)

・アクセス件数 合計263,489件 (昨年件数281,048件)

【対前年 94% 17,559件減】

※総括

前年より、市内ローカル情報も定期的に掲載し充実を図ってまいりましたが、対前年に比較すると大幅な減となった。

全体的に、名護市の情報に限らず北部地域全体の電話による問い合わせが増えているものの、HPの中身の改善を求める事も要因といえる。パワースポットや各地域の自然資源・食に関するお勧め店も強く打ち出す事も必要と考える。

※上半期：4月～8月の動向

夏のシーズンを迎え、観光施設・イベント情報等の問い合わせで、夏まつり・ハーリー大会 BBQ広場・パインナップル・マンゴー等の購入先などの問い合わせも多数あった。

※下半期：9月～3月の動向

これから涼しい季節を迎え、レンタサイクルやまちなか散策の問い合わせや、イベントに於いてはアジア国際ハーリー大会やカリークリスマス・さくら祭りの情報提供を行った。

北海道日本ハムファイターズが今年度より10日間のキャンプによる影響もあり、1月・2月のアクセス件数が約4000件減となった要因とも考えられる。



